

中国ブロック
各小中学校 PTA 会長様
各小中学校長様

ごあいさつ

この度、世界中から多くの人々が訪れる広島平和記念公園内の広島国際会議場において「伝えよう思いやりの心 広げよう平和のまち広島から ～未来へ生きる子どもたちのために Peace!～」を大会スローガンに掲げ、第49回日本PTA中国ブロック研究大会広島市大会を開催します。昨年の西日本豪雨災害で私たちはお互いに支えあうことを教わりました。小さな行動が大きな力になる。子どもは大人の行動や姿から、人を思いやる気持ちを学びます。私たちが、家族を含め、周りの人への思いやりの心をもって接すれば、もっと人は豊かになれると考えます。平和を願う広島市で中国ブロック研究大会が開催されることは多くの皆様にとって大変意味深く思います。今大会をとおりて、PTA関係者との交流と理解を深め、更なる絆で結ばれ、PTA活動の実践に繋がる大会となるよう、多くの皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

大会趣旨

広島は、毛利元就の言葉に『三矢の教え』という教えがあります。「一本の矢では折れやすいが、三本がまとまれば強くなる」というものですが、この教えは「家庭（一の矢）」、「学校（二の矢）」、「地域（三の矢）」の連携を実践するPTA活動そのものです。子どもたちが健やかに成長をしていくには、学校に任せきりで成せるものではなく、また家庭だけでは完結せず、地域の協力も併せ持つて初めて成せるもので、三者の連携が必要不可欠です。しかしこれらの連携は、何もせずとも強いものになる訳ではなく、「相手を思いやる気持ち」を加えることで結びつきをより強くしていきます。この「相手を思いやる気持ち」は国際平和文化都市 広島において、世代を超えて受け継がれている精神性でもあります。平和の根源は相手を思いやる気持ちであり「不戦＝平和」ではなく、皆に思いやりの気持ちが備わることこそが平和な世界への第一歩となります。本大会を通じて広島に集うPTA会員に平和のメッセージを感じてもらい、思いやりの気持ちが再認識されることで、各地で家庭、学校、地域の連携が深まり、子どもたちの健やかな成長に繋がると考え、大会スローガンを「伝えよう思いやりの心 広げよう平和のまち広島から～未来へ生きる子どもたちのために Peace!～」とし大会を開催致します。

大会要項

主催 中国ブロック PTA 協議会 広島市 PTA 協議会
後援 文部科学省（公社）日本 PTA 全国協議会 広島市 広島市教育委員会
対象 中国ブロック各県・市 PTA 協議会（連合会）の PTA 会員・教育関係者 約 1,500 人
参加費 3,000 円（昼食代込み）
※参加申込後のキャンセルについては、参加費の返金はいたしません。予めご了承ください。
期 日 令和元年11月2日（土）

〔大会日程〕

9:20 ↓	10:00 ↓	10:50 ↓	11:45 ↓	12:00 ↓	13:00 ↓	13:20 ↓	14:50 ↓
受付 (40 分)	開会行事 (45 分)	実践発表 (50 分)	次期開催地 PR (15 分) 岡山県 PTA 連合会	昼食 (60 分)	アトラクション (15 分)	記念講演会 (90 分)	閉会行事 (10 分)

記念公演



演題「世界からのメッセージ～未来へ生きる子どもたちのために～」
講師 渡部 陽一 氏

プロフィール

1993年アフリカ、ザイール内戦の取材にはじまり、今では世界各地で100を超える国や地域を訪れ、今なお取材活動を継続中。テレビ、ラジオにも多数レギュラー出演する中、紛争地域の惨状を伝える写真展なども精力的に行う。著書「報道されなかったイラクと人びと」（新風舎）他

大会へのメッセージ

『戦争の犠牲者はいつも子供たち』。これがいかなる戦争であっても変えることのできない現実でありました。世界で戦争が続く限り、紛争地に立たされる子供たちの声をたくさんの方に届けたいと思っています。世界を知ることは家族を守ること。世界と日本の架け橋となる写真をご紹介します。

実践発表



・・・・・・ 発表テーマ・団体・・・・・・

- 全国いじめ問題子供サミット報告 広島市立己斐中学校生徒会
- いじめ問題子どもサミット
いじめ すまぁや! ぶっちゃけ座談会 ～心の勉強会～ 広島市PTA協議会 専務理事 山本 岸子
- いじめ問題への取り組み 広島市立二葉中学校生徒会
広島市立庚午中学校生徒会
- いじめ問題大人サミット
「いじめ」から子どもを守るには ～いま、私たちにできること～ 広島市PTA協議会 専務理事 西本 亮

アトラクション

千田小学校合唱隊

広島市立千田小学校の被爆樹木カイツカイブキから作られたというパンフルートで千田小学校の合唱隊の皆さんの歌とパンフルートの生演奏です。



広島市立千田小学校で原爆に耐えた被爆樹木カイツカイブキが衰弱し切り倒され、笛の「パンフルート」に生まれ変わりました。切り倒されたカイツカ

イブキの木材は、パンフルート工房を営む香原良彦さんにより、直径2センチ、長さ10～20センチほどの木管10本をアーチ状につなげた「パンフルート」として蘇りました。当初40個でしたが、現在90台となっています。「パンフルート」を演奏する合唱隊は、平成28年～平成30年3年連続で、8月6日の広島市主催「子ども平和の集い」でアオギリ賞を受賞しています。また、平成29年（2017年）には、「国際シンポジウム2017」に参加するなど、国内や世界に向けて「平和のメッセージ」を発信する活動を行っています。

